

平成 23 年度京都府食育推進行動計画

【実績報告】



きょうと食育ネットワーク
マスコット なす坊



平成 24 年 6 月
京 都 府

【 目 次 】

1	評価一覧	1
2	各取組の実績	5
(1)	世代に応じた食育の推進	5
ア	子どもの食育支援	5
イ	学生等若い世代の食育支援	18
ウ	中年の食育支援	22
エ	高齢者の支援	24
(2)	家庭における食育の推進	27
(3)	地域における食育の推進	37
3	数値目標	51

< 凡 例 >

取組事項	取組の内容		担当
○○○・・・	△△△・・・		×××
	取組の実績	評価	▲

平成23年度における取組の実績を記載

実績の評価を記載
 A：実施済み
 B：未完了・未達成

1 評価一覧

第2次京都府食育推進計画	評価	平成23年度の取組事項	担当	
(1) 世代に応じた食育の推進	ア 子どもの食育支援	①農作物栽培や家畜の世話、調理等、農業や食に関する体験活動の充実		
		A	◆府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催	自然環境保全課
		A	◆子供を対象とした農業体験の開催	農村振興課
		A	◆府関連施設を活用した農林漁業体験	農村振興課(丹後あじわいの郷)
		B	◆「きょうと食いく先生」養成講座の開講とサポーターの登録	食の安心・安全推進課
		B	◆食農体験農場の開設推進	食の安心・安全推進課
		A	◆調理実習等の充実	学校教育課、高校教育課
		A	◆地域の人材を活用した体験学習等の実施	保健体育課
		A	◆親子農業体験ツアー(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局
		②食に関する体験・学習できる施設等の情報提供		
		A	◆該当施設に関する情報の収集・提供	食の安心・安全推進課
		A	◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	食の安心・安全推進課
		A	◆“食”関連情報の発信	中丹広域振興局、水産事務所
		③親子料理教室等の開催		
		A	◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	健康対策課(各保健所)
		A	◆食育講座の開催	食の安心・安全推進課
		A	◆親子など府民を対象にした食育の推進	丹後広域振興局、丹後教育局
		④地場産物の活用や郷土料理・行事食など地域の特色をいかした給食・調理実習の実施		
		A	◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援	健康対策課(各保健所)
		A	◆生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成	食の安心・安全推進課
		A	◆地場産物を取り入れた学校給食の促進	保健体育課
		A	◆地域に伝わる郷土料理を学ぶ食育教室の開催	南丹広域振興局
		⑤食生活改善推進員や生活研究グループ、生産者等地域の食の専門家の協力を得た食育の取組		
		A	◆食生活改善推進員活動の支援(リーダー研修会の実施)	健康対策課(各保健所)
		A	◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 【再掲】	食の安心・安全推進課
		A	◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
		A	◆地域の人材を活用した体験学習等の実施 【再掲】	保健体育課
		A	◆子どもたち等を対象とする食育の推進	山城広域振興局、山城教育局
		A	◆親子など府民を対象にした食育の推進 【再掲】	丹後広域振興局、丹後教育局
		⑥食に関する指導と給食の管理を行う栄養教諭の配置拡充、採用の維持		
		A	◆採用選考試験等の実施	教職員課
		⑦食育に関する教職員の意識向上及び資質向上		
		A	◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など	健康対策課(各保健所)
		A	◆教職員研修の充実	保健体育課
		A	◆子どもを対象とした野菜たっぶり給食献立の交流	山城北保健所
		A	◆乙訓学校給食研究大会の開催	乙訓教育局
		A	◆山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	山城教育局
		A	◆南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催	南丹教育局
		A	◆中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	中丹教育局
		A	◆丹後地方食育・学校給食研修会の開催	丹後教育局
		⑧他校種(幼・保、小、中、高等)と連携した食育の推進		
		A	◆特定給食施設等従事者講習会	健康対策課(各保健所)
		A	◆校種間連携による食育の推進	保健体育課
		A	◆小学校、高校、大学が連携した「パートナーズスクール事業」の実施	南丹教育局
		⑨あらゆる機会を通じた「食」に関する指導		
		A	◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など 【再掲】	健康対策課(各保健所)
		A	◆出前講座への対応	健康対策課(各保健所)
		A	◆「こどもたちのための食と環境講座」の実施	農政課
		A	◆学校での水産教室の開催	水産課
		A	◆学校給食を活用した食育の推進	保健体育課
		A	◆地域で生産される京野菜について食育教室を開催	南丹広域振興局
		A	◆食育キャラクターの普及と活用	丹後保健所
		A	◆子どもとお母さんのためのお魚媒体の普及と活用	丹後保健所

京都府食育推進計画		平成23年度の取組事項	担当	
(1)	イ 学生等若い世代の食育支援	①援農ボランティア活動等を通じた学生の農林漁業体験の推進		
		②生協等の学生食堂と連携した「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開、郷土料理・行事食提供の推進		
		A	◆食情報提供店への加入促進	健康対策課(各保健所)
		A	◆学生食堂における食育の推進	食の安心・安全推進課
		③大学と連携した食育の推進		
		A	◆献血時における大学生等を対象にした栄養相談	薬務課
		A	◆大学生に対する食育の推進	食の安心・安全推進課
		A	◆「京都米の良さ発見！」提案の募集	農産課
		④親子農林漁業体験の推進		
		A	◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課
		A	◆特用林産物の栽培体験	モデルフォレスト推進課
		⑤食に関する体験・学習ができる施設等の情報提供		
		A	◆該当施設に関する情報の収集・提供【再掲】	食の安心・安全推進課
		A	◆“食”関連情報の発信【再掲】	中丹広域振興局、水産事務所
		⑥生産現場での意見交換等の生産者と消費者との交流の促進		
	A	◆意見交換・シンポジウムの開催	食の安心・安全推進課	
	A	◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課	
	⑦きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進			
	A	◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発	食の安心・安全推進課	
	A	◆スーパーマーケット等での食育啓発活動	食の安心・安全推進課	
	A	◆地元産物を活用したレシピ作成	食の安心・安全推進課	
	A	◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課	
	⑧職場での料理教室の推進			
	⑨健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進			
	A	◆地域・職域連携推進会議	健康対策課(各保健所)	
	ウ 中年の食育支援	①健康審査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進		
		A	◆地域・職域連携推進会議【再掲】	健康対策課(各保健所)
A		◆働きざかり世代への食を通じた健康づくり	南丹保健所	
②企業食堂と連携した郷土料理・行事食提供の推進				
A		◆健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズの取組	健康対策課	
A		◆「たんとおあがり京都府産」施設(京都府産農産物利用推進施設)の認定	食の安心・安全推進課	
③職場での料理教室の推進				
④きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進				
A		◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発【再掲】	食の安心・安全推進課	
A		◆スーパーマーケット等での食育啓発活動【再掲】	食の安心・安全推進課	
A		◆地元産物を活用したレシピ作成【再掲】	食の安心・安全推進課	
A		◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課	
エ 高齢者の支援	①社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援			
	A	◆高齢者等への買い物支援	貿易・商業課	
	②高齢者の生活を充実させるための活動支援			
	A	◆SKYふれあいフェスティバルにおける高齢者の栄養改善に係る普及啓発	高齢者支援課	
	A	◆地域・職域連携推進会議【再掲】	健康対策課(各保健所)	
	③技能や技術を活用した農業や料理の体験の場等における活動支援			
	A	◆農山漁村伝承技能の登録・認定	研究普及ブランド課	
	④きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進			
	A	◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発【再掲】	食の安心・安全推進課	
	A	◆スーパーマーケット等での食育啓発活動【再掲】	食の安心・安全推進課	
	A	◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課	

京都府食育推進計画	平成23年度の取組事項	担当
(2) 家庭における食育の推進	①「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開	
	A ◆保育所等での取組の支援	健康対策課(各保健所)
	A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆小学校就学前の子どもを持つ親への支援	社会教育課
	A ◆朝食を食べない幼児ゼロを目指した保育園入園前の子どもをもつ親への食育啓発	丹後保健所
	②「食」の大切さや望ましい食習慣等についての啓発	
	A ◆出前講座への対応 【再掲】	健康対策課(各保健所)
	A ◆各種イベントでの啓発	健康対策課(各保健所)
	A ◆食のスクラップコンクール実施	食の安心・安全推進課
	A ◆各種イベントでの啓発	食の安心・安全推進課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆家庭における食育推進をねらいとした啓発	乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓農業改良普及センター
	A ◆子どもたち等を対象とする食育の推進 【再掲】	山城広域振興局、山城教育局
	A ◆直売所店頭での「なんたん・かんたん・やさい料理」レシピカード配付	南丹保健所
	A ◆働きざかり世代への食を通じた健康づくり 【再掲】	南丹保健所
	A ◆「みんなでコラボin中丹」における「基本的な生活習慣(はぐくみ教室)」の開催	中丹教育局
	A ◆「伝えたいたんこの味」を活用した食生活改善推進員地域活動の推進と情報発信	丹後保健所
	③栄養指導・相談対応の充実	
	A ◆保育所等への支援	健康対策課(各保健所)
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	④親子料理教室等、「食」を楽しみながら学ぶ機会の提供	
	A ◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 【再掲】	健康対策課(各保健所)
	A ◆府関連施設を活用した農林漁業体験	農村振興課(丹後あじわいの郷)
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	⑤初めて父親、母親になる夫婦の子育てを意識した食育における保健・医療機関、NPO等の連携による取組	
	B ◆子育てを意識した食育講座の実施	食の安心・安全推進課
	⑥きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進	
	A ◆各種イベントでの啓発	健康対策課
	A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
A ◆地元産物を活用したレシピ作成 【再掲】	食の安心・安全推進課	
(3) 地域における食育の推進	①五感を活性化させる食農体験の場づくりの推進	
	A ◆府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催 【再掲】	自然環境保全課
	B ◆食農体験農場の開設推進 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆消費者応援隊活動体験ツアー(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局
	②食育を推進する人材の育成	
	A ◆管内栄養士ネットワーク推進事業	健康対策課(各保健所)
	A ◆食生活改善推進員活動の支援(リーダー研修会の実施) 【再掲】	健康対策課(各保健所)
	A ◆特定給食施設等従事者講習会 【再掲】	健康対策課(各保健所)
	A ◆食育指導の知識・技術の習得を支援	食の安心・安全推進課
	B ◆「きょうと食いく先生」養成講座の開講とサポーターの登録 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆子どもたち等を対象とする食育の推進 【再掲】	山城広域振興局、山城教育局
	A ◆特定等給食施設従事者人材育成研修の開催	山城北保健所
	B ◆食育講演会の開催	丹後保健所
	③学校や福祉施設などの給食での地産地消の推進	
	A ◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援 【再掲】	健康対策課(各保健所)
	A ◆生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆「たんとおあがり京都府産」施設(京都府産農産物利用推進施設)の認定 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆地場産物を取り入れた学校給食の促進 【再掲】	保健体育課
	A ◆地元産農水産物を取り入れた学校給食の促進	丹後広域振興局、丹後教育局

京都府食育推進計画	平成23年度の取組事項	担当
(3) 地域における食育の推進	④食生活改善推進員や生活研究グループ等が行う郷土料理・行事食の料理教室等の活動の推進	
	A ◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取り組み支援 【再掲】	健康対策課(各保健所)
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	研究普及ブランド課
	A ◆親子など府民を対象にした食育の推進 【再掲】	丹後広域振興局、丹後教育局
	A ◆「伝えたいたごの味」を活用した食生活改善推進員地域活動の推進と情報発信 【再掲】	丹後保健所
	⑤きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進	
	A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆地元産物を活用したレシピ作成 【再掲】	食の安心・安全推進課
	⑥生産者と消費者との生産現場での意見交換等交流の促進	
	A ◆意見交換・シンポジウムの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆京野菜等ブランド産品に共感を覚える活動	研究普及ブランド課
	A ◆エコファーマーと消費者を結びつける交流会の開催	農産課
	B ◆京都米提供店の登録	農産課
	A ◆都市漁村交流の促進	水産課
	A ◆消費者応援隊活動(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局
	A ◆地域において食や農への理解を深める交流活動の展開	南丹広域振興局
	A ◆中丹「食の環」づくり事業による「食の環」ネットワークの構築	中丹広域振興局、水産事務所
	⑦食の安心・安全についての関係機関と連携した情報提供	
	A ◆きょうと健康長寿推進府民会議	健康対策課(各保健所)
	A ◆京都の伝統食品や加工技術を紹介する展示会等の開催	染織・工芸課
	A ◆意見交換・シンポジウムの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	食の安心・安全推進課
	A ◆京都発！食とみどりのサイエンスNOW	農林水産技術センター企画室(研究普及ブランド課)
	A ◆「海まるごと体験」の実施	海洋センター(研究普及ブランド課)
	B ◆管内市町食育関係各課担当者連絡調整会議の開催	丹後広域振興局、丹後教育局
	⑧社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援	
	A ◆高齢者等への買い物支援 【再掲】	貿易・商業課
	⑨優良事例の紹介及び取組の拡大	
	A ◆「きょうの食育みんなの交流会」の開催	食の安心・安全推進課
A ◆きょうと食育事例集の作成	食の安心・安全推進課	
A ◆食育・地産地消推進協議会(仮称)の設置推進	食の安心・安全推進課	
A ◆市町村食育推進計画の策定支援	食の安心・安全推進課	
A ◆管内市町が策定する食育推進計画の策定支援	乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓農業改良普及センター	
A ◆管内市町村が策定する食育推進計画の策定支援	山城南保健所	
A ◆きょうと健康長寿推進南丹地域府民会議食環境部会の実施	南丹保健所	
B ◆管内市町食育推進計画の策定支援	丹後広域振興局、丹後教育局	
A ◆丹後の食育実践活動事例の評価及び再検討	丹後保健所	

A:実施済
144/153(94%)
B:未完了・未達成
9/153(6%)

2 各取組の実績

(1) 世代に応じた食育の推進

乳幼児期から高年期までそれぞれのライフステージにおいて、必要な「食」に関する能力を習得していくことで、生涯を通じて心身共に健康で豊かな生活を営むことができますが、望ましい食生活が実践できていません。例えば、子どもは命と食の大切さを理解するための体験が不足していたり、学生等の若者は知識と技術が不足しているために食が貧しい状況にあったり、高齢者では新鮮な食料の入手が困難な状況、買い物弱者が発生するなど世代により課題に特徴があります。

ア 子どもの食育支援

① 農作物栽培や家畜の世話、調理等、農業や食に関する体験活動の充実

取組事項	取組の内容	担当
府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催	府立丹後海と星の見える丘公園において、指定管理者主催により、生ゴミを堆肥化して土づくりから農作物の栽培・収穫体験・火おこしからおくどさん（かまど）を使った調理体験、石窯を使ったパン焼き体験などさまざまな食育・環境体験教室を開催し、宿泊者等には地元産食材を使った食育を大切に料理を提供します。	自然環境保全課
	取組の実績	評価
	○地元産食材を利用した調理教室や石窯ピザ焼き教室(24回開催、参加者324人)、農作物播種・収穫(トマト、ピーマン、タマネギ、サツマイモ等)体験(14回開催、参加者276人)、ゼロエミ(生ゴミの堆肥化)教室(4回開催、参加者55人)など、学校や団体客等の希望に応じて食をテーマにした体験プログラム等、合わせて40回以上の食育・環境体験教室を実施。	A

取組事項	取組の内容	担当
子供を対象とした農業体験の開催	<p>地域の高齢化が進み、農業への関心も希薄になる中、将来を担う子供達の参加による植え付け体験や収穫体験を通じて、農業に対する関心を深めるためのイベントを地域団体が主体となって開催します。</p> <p>目標値：農業体験イベント 5地区</p> 	農村振興課
	取組の実績	評価
	○府内10地区で実施 (精華町、宇治田原町、舞鶴市、綾部市、福知山市、京丹後市)	A

取組事項	取組の内容	担当
府関連施設を活用した農林漁業体験	<p>サツマイモづくりやブルーベリー、イチゴなどの収穫体験活動を推進します。</p> 	農村振興課 (丹後あじわいの郷)
	取組の実績	評価
	○ブルーベリー収穫体験(659人)、さつまいも収穫体験(116人)を実施。	A

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
食農教育サポーター（仮称）養成講座の開講とサポーターの登録	<p>学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、サポーターの登録を行います。</p> <p>目標：養成講座開催 2回 サポーター登録 40名</p>	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	B
	<p>○「きょうと食いく先生」養成講座を2回開催（参加者 105名）。食農体験の意義と子どもにわかりやすい教え方についての講義、体験指導の実践アドバイス等を実施した。しかし、制度が農業者のボランティア登録から農作業や調理等を指導できる幅広い人材の認定・登録に変更となり、新たな制度設計中であるため、サポーターの登録までには至らなかった。</p> <p>○「きょうと食いく先生」養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部会場（綾部市）：平成24年1月16日（月） 参加者57名 ・南部会場（京田辺市）：平成24年1月31日（火） 参加者48名 		

取組事項	取組の内容	担当	
食農体験農場の開設推進	<p>子どもたちが五感を使って、種まき・苗植え、草引き、施肥、収穫、調理など一連の農作業等を1年を通じて体験できる農場の開設を支援します。</p> <p>目標：農場開設数 7箇所</p>	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	B
	<p>府内で体験農園に取り組んでいるリーダー等を対象とした交流会を開催し、体験農園の取組のあり方等について意見交換・交流を行い、現場ニーズを把握した。しかし、体験のみならず、きょうと食いく先生等による食に関する学習を加えるなど、より充実した農場づくりを進めるため、登録制度を創設中であり、制度創設後に制度に合致した農場設置を推進予定。</p> <p>○きょうと食農体験農場交流会 （平成23年10月24日、参加12農場）</p>		

取組事項	取組の内容	担当	
調理実習等の充実	<p>基礎的な技能を身に付け、日常生活で活用できるようにします。食文化を継承しつつ、健康で安全な調理を工夫し、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わうことができますようにします。</p>	学校教育課 高校教育課	
	取組の実績	評価	A
	<p>○家庭科、技術・家庭科等の授業において、栄養教諭等との連携や外部講師の活用など、様々な工夫を凝らしながら、すべての学校で地域の特性を生かした調理実習等の「食育」を推進している。</p>		

取組事項	取組の内容	担当
地域の人材を活用した体験学習等の実施	「栄養教諭を中核とした食育推進事業」において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
	取組の実績	評価
	○各学校では、地域の生産者や関係団体等と連携し作物栽培や調理実習等の体験学習を実施している。 ○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の指定地域においては、地産地消親子クッキングや生産者を招いての招待給食などの取組により、子どもたちに地元の産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めた。併せて指定地域の実践報告冊子を作成・配布し、その成果を普及した。	A

取組事項	取組の内容	担当
親子農業体験ツアー (おいしい食の応援隊)	親子で農作業や農産物加工を体験し、自ら手がけた収穫物や加工品を食べて、農業、農村、地産地消への理解を深めます。	南丹広域振興局（農林商工部）
	取組の実績	評価
	○親子農業体験ツアーを1回開催。（参加者 46名） 〈参加者の感想〉農業の様子がわかり、地域の農産物を大切にしていこうと思った。	A

② 食に関する体験・学習できる施設等の情報提供

取組事項	取組の内容	担当
該当施設に関する情報の収集・提供	該当施設についての情報をホームページを通じて情報提供します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都府ホームページ内に開設している「食と農の体験施設」ページにおいて、地域別（京都市・山城・南丹・中丹・丹後）、内容別（食べる・作る・学ぶ・育てる）で情報提供を実施。 http://www.pref.kyoto.jp/syokuiku-spot/index.html	A



取組事項	取組の内容	担当
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。 【食育支援の取組】 ○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供 ○農林漁業体験プログラム 等	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施。	A

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
“食”関連情報の発信	中丹地域の安心・安全な地場産品や施設を紹介する中丹“食の環”マップを作成し、広く府民にPRします。	中丹広域振興局（農林商工部企画調整室、中丹東・西農業改良普及センター、中丹西・東保健所） 水産事務所
	取組の実績	評価
	<p>○地元産農産物を販売している直売所や地元の食材を使って料理を提供している飲食店などを紹介した「中丹“食の環”マップ」を5,000部作成しました。 平成23年6月の公募により、応募のあった33店舗を掲載。 【内訳：漁業体験施設1、直売所10、飲食店22】 その他にも、「中丹の旬のやさい・さかな」「綾部市生活改善グループ加工部の加工食品」「中丹地域の『たんとおあがり京都府産』施設」などを紹介。 配布先は、掲載している33店舗のほか、各駅観光案内所（東舞鶴駅、西舞鶴駅、綾部駅、福知山駅）や行政機関の窓口。</p>	

③ 親子料理教室等の開催

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	<p>○各保健所で、食生活改善推進員リーダー対象の研修会を開催（10回 延べ376名が参加） ○各地域で食生活改善推進員が、小学生を対象とした「おやこ食育教室」等、食育に関する事業を実施。</p>	

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○こども夏休み料理教室（自分でつくるよ！おひるごはん） 平成23年8月23日 [京都聖母女学院短期大学] ○こども夏休み料理教室（まるめてポン！おさえてパカッ！） 平成23年8月24日 [京都聖母女学院短期大学] ○農業体験教室（種まき・収穫） 平成23年8月27日、11月12日 [京都府農協青壮年組織協議会] ○市場見学会 平成23年9月24日 [京都市・京都市中央卸売市場協会] ○おやこ食育教室（食育5つの力） 平成23年12月4日 [向日市食生活改善推進員協議会] ○ひらめき☆ときめきサイエンス（京都の伝統文化&食おもてなしの心を学ぼう） 平成23年12月18日 [京都府立大学大学院] ○子ども料理教室 平成24年1月14日 [京都市・京都市中央卸売市場協会]</p>	

取組事項	取組の内容	担当
親子など府民を対象にした食育の推進	地元産農水産物・農林漁業の理解や丹後の食文化を理解する機会を提供するために、生産者や食生活改善推進員等の協力を得て府民を対象にした（郷土食）料理教室を開催します。	丹後広域振興局（農林商工部・丹後保健所） 丹後教育局
	取組の実績	評価
	<p>○お茶を通じた食育活動として、お茶の製造体験、製茶実習などを実施した。 小学校4カ所（23年6月～10月：計52名）</p> <p>○薦池大納言小豆を通じた食育活動として、農作業体験（播種・収穫）調理実習などを実施した。（23年7月～24年2月：宮津高校伊根分校生徒17名）</p> <p>○食の安心安全意見交換会として、小学校のスポーツ少年団・保護者会を対象に、酪農の現場体験と、健康な体作りの牛乳料理教室、食育講話を実施した。 （23年12月4日：参加者49名）</p> <p>○食の安心安全意見交換会として、府民対象に伝統料理（ばらすし）講習会を開催した。（24年3月18日：参加者20名）</p>	A

④ 地場産物の活用や郷土料理・行事食など地域の特色をいかした給食・調理実習の実施

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援	給食を実施している施設で、地域の特色や工夫を活かした給食の提供ができるよう、保健所による給食施設巡回指導時の個別相談により支援します。 <特定給食施設> 健康増進法第20条では、特定かつ多数の者に対して継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設。 ただし、府ではそれ以下の食数の施設に対しても指導対象施設としている。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	<p>○特定給食施設等巡回指導時に、栄養指導員が個別相談に対応。</p> <p>○特定給食施設等（保育所・幼稚園等）の給食従事者、食育担当者等を対象に、講習会・研修会を16回実施、909名が参加した。</p>	A

取組事項	取組の内容	担当
生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成	学校・保育園給食への地元農林水産物の供給を拡大するため、地元の農林水産物の旬・生産状況と学校給食のニーズを把握し、生産者と学校の調整活動を行うコーディネーターを育成します。 目標：育成研修会開催 2回	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○学校等給食コーディネーター育成研修会を2回開催。地元農林水産物の使用による教育的効果についての実践報告や「学校給食への地元農林水産物の供給拡大をいかに進めるか」についてパネルディスカッション方式で討議するなど、先進事例等に学ぶとともに、相互交流することによりノウハウの蓄積を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部会場（京田辺市）：平成23年11月29日（火） 参加者37名 ・北部会場（綾部市）：平成23年11月30日（水） 参加者57名 	A

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
地場産物を取り入れた学校給食の促進	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食など取り入れることによって、子どもたちに地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。	保健体育課	
	取組の実績	評価	A
	○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」、「食に関する指導充実事業」等の取組により、地場産物の活用など地域の特色を生かした学校給食等についての実践的研究に取り組み、研修会や公開授業、発表会等で他の学校に成果を普及した。 ○「学校給食における地場産物活用状況等調査」では、月1回以上府内産の野菜を利用している学校の割合は99.2%となっている。		

取組事項	取組の内容	担当	
地域に伝わる郷土料理を学ぶ食育教室の開催	地域の小学生を中心に、地域の郷土料理の良さを見直すため、背景や時期や調理方法等を伝えます。 目標値：食育教室 1回	南丹広域振興局（農林商工部）	
	取組の実績	評価	A
	○「ふれあい食育教室」を1回開催（参加者 計15名） 地域の小学生と親子、住民参加の食育教室を開催、体験することによって郷土料理を見直す良いきっかけになった。		

⑤ 食生活改善推進員や生活研究グループ、生産者等地域の食の専門家の協力を得た食育の取組

取組事項	取組の内容	担当	
食生活改善推進員活動の支援（リーダー研修会の実施）	保健所は、食生活改善推進員のリーダー層に研修会を行い、食育に関する最新知識や事例共有などの機会を提供し、効果的な活動が展開されるよう支援します。	健康対策課（各保健所）	
	取組の実績	評価	A
	○各保健所で、食生活改善推進員リーダー対象の研修会を開催（10回 延べ376名が参加）		

取組事項	取組の内容	担当	
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。 【食育支援の取組】 ○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供 ○農林漁業体験プログラム 等	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施。		

再掲(1)ア②

(1) 世代に応じた食育の推進

⑥ 食に関する指導と給食の管理を行う栄養教諭の配置拡充、採用の維持

取組事項	取組の内容	担当
採用選考試験等の実施	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けるなど、積極的に配置を促進します。	教職員課
	取組の実績	評価
	○今年度、栄養教諭2名を新規採用し、全体で83名(京都市を除く)の配置数となった。	

⑦ 食育に関する教職員の意識向上及び資質向上

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など	保健所が実施する特定給食施設等巡回指導や従事者講習会の開催などにより、献立や食育に関する知識普及・情報提供等を行い、給食施設従事者の意識の向上を図ります。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○保育所・幼稚園への訪問指導を実施（92施設：延べ96施設） ○特定給食施設等（保育所・幼稚園等）の給食従事者、食育担当者等を対象に、講習会・研修会を16回実施、909名が参加した。	

取組事項	取組の内容	担当
教職員研修の充実	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、教育局別研修会などを開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。	保健体育課
	取組の実績	評価
	○初任者・新規採用者研修をはじめ、府学校給食研究協議大会（平成23年12月27日開催）や教育局別の食育・学校給食研修会等において教職員の食育推進に対する意識が向上するように研修を実施した。	

取組事項	取組の内容	担当
子どもを対象とした野菜たっぷり給食献立の交流	食育の媒体となる「給食」について、保育所等で提供されている野菜たっぷり人気献立の交流を行うことにより、保育所や家庭における野菜の摂取量増加を図ります。 目標：平成23年度 1回実施	山城北保健所
	取組の実績	評価
	○特定給食施設人材育成研修の中に盛り込む 6月24日（14名）	

取組事項	取組の内容	担当	
乙訓学校給食研究大会の開催	乙訓管内の学校給食実施校及び各市町教育委員会の学校給食関係者を対象として、乙訓学校給食研究会と連携し、学校給食における管理運営・栄養管理や調理・食に関する指導についての諸問題を研究協議し学校給食の安全性の確保を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食のより一層の充実と食育の推進を図るため、研修会を開催します。 ○7月28日(木) 大山崎町立中央公民館	乙訓教育局	
	取組の実績	評価	A
	○日 時：平成23年7月28日(木) 場 所：大山崎町立中央公民館 参加者：学校給食関係者 約130名 内 容：講 演 「子どもが変わる・生活を変える食育」 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 永井成美 研究発表 「京都府の郷土料理～給食週間の献立研究～」 「おいしさを味わおう～「食」に関する指導の充実を目指して～」		

取組事項	取組の内容	担当	
山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	山城管内の学校、学校給食共同調理場及び市町(広域連合)教育委員会の教職員・調理員等学校給食関係者が食に関する指導についての理解を深め、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図るとともに、学校給食の管理及び運営並びに食に関する指導について研究協議し、学校給食の安全性の確保と健康教育に関する指導のより一層の充実を図ります。 ○7月28日(木) 山城総合文化センター	山城教育局	
	取組の実績	評価	A
	○参加人数：213名 ○文部科学省の学校給食調査官も歴任された大学教授による講演を行うなど、食に関する指導において、学校給食の果たす役割を再認識するとともに、学校教育活動全体で、食育を推進することの重要性を改めて考える機会となった。		

取組事項	取組の内容	担当	
南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催	南丹管内の幼・小・中・府立学校・学校給食センター・市町教育委員会等の教職員及び調理員等が、食に関する指導や管理運営についての実践交流や家庭、地域社会、関係機関との連携による食育の推進について学び合い、安心・安全で、かつ生涯にわたる健康づくりの基盤となる学校給食の充実と、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図ります。 ○8月11日(木) 南丹市日吉町生涯学習センター	南丹教育局	
	取組の実績	評価	A
	○講演や実践を通じて研修することにより、食育の推進を一連のものとしてとらえ、認識を深めることができた。 中学校における学校給食実施が少ない中、中学校の食育の重要性について更なる協議が必要と認識できた。(参加者108名)		

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	中丹管内の給食実施校、学校給食共同調理場及び各市教育委員会の担当者が学校給食の管理及び運営並びに指導について研究協議し、学校給食の安全性の確保・食中毒の防止・食に関する指導の一層の充実を図ります。 ○7月27日(水) 舞鶴商工観光センター	中丹教育局	
	取組の実績	評価	A
	<p>○平成23年7月27日(水) 舞鶴市商工観光センターで開催。(参加者 187名) 兵庫県立大学環境人間学部食環境栄養課程准教授を講師に招いた講演と、中丹管内小学校教諭及び小学校栄養教諭による実践発表を行った。</p> <p>(成果) 京都府教育振興プラン及び第2次京都府食育推進計画における食育の重点を示しながら、子どもたちの体験活動や家庭、地域との連携を重視し、学校教育活動全体を通じた食育を一層推進することの大切さを確認できた。</p> 		

取組事項	取組の内容	担当	
丹後地方食育・学校給食研修会の開催	丹後管内の学校・学校給食センター・市町(組合)教育委員会の教職員・調理従事員・関係職員を受講対象者とし、食に関する指導についての理解を深め、食に関する指導計画に基づいた学校教育活動全体を通じた食育の推進と生きた教材としての学校給食の充実や安全かつ安心な学校給食の実施に向けて一層の徹底を図ることを目的とした研修会を開催します。 ○8月2日(火) アグリセンター大宮	丹後教育局	
	取組の実績	評価	A
	<p>○平成23年8月2日(火) アグリセンター大宮 食育に関する主張部局側からの取り組み報告を聞くことができ、参加者の9割が今後の食育を進める上で参考になったと評価。</p> <p>京都府：第2次食育推進計画 宮津市：地産地消(消)推進計画 栗田小学校の取り組み状況報告 研究協議：各校(施設)における取り組み、衛生管理に関する疑問や悩みの交流ができ、有意義であった。</p> <p>参加者：129名</p>		

⑧ 他校種(幼・保、小、中、高等)と連携した食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
特定給食施設等従事者講習会	特定給食施設等従事者講習会の場を活用し、情報提供や施設間の交流の場を提供することで、連携した食育を推進します。	健康対策課(各保健所)	
	取組の実績	評価	A
	<p>○保育所・幼稚園の給食従事者、食育担当者等を対象に実施した講習会・研修会の中で、施設間同士の情報交換や交流の場を設定した。</p>		

取組事項	取組の内容	担当
校種間連携による食育の推進	「栄養教諭を中核とした食育推進事業」において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
	取組の実績	評価
	○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の指定校においては、幼・保、小、中合同の食育研修会の開催や地域の高校生が加工した地元産の魚を給食に取り入れるなど、校種間の連携を図り、系統的・計画的な食育の推進を図っている。併せて指定地域の実践報告冊子を作成・配布し、その成果を普及した。	

取組事項	取組の内容	担当
小学校、高校、大学が連携した「パートナーズクール事業」の実施	京丹波町立瑞穂小学校と須知高校と京都大学大学院の校種の異なる三者が連携し、京都大学が持つ知的資源を須知高校の食品科学科の持つ「食」を中心とした農業教育等に生かしながら、それらの教育資源を地域の小学校に普及することによって、地域全体の食育推進へと繋げるとともに、京都丹波の地域の絆を深める機会とします。	南丹教育局
	取組の実績	評価
	○いのちをつなぐ「食」について考えよう！”と題し3回シリーズで実施（参加者 延べ210名） 黒豆の栽培、牧場の見学及び地元の食材を使ったアイスクリーム作りをとおして、食の宝庫である京都丹波地域の魅力を再発見するとともに、”いのちをつなぐ「食」”に対する理解が深まった。	

⑨ あらゆる機会を通じた「食」に関する指導

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など	保健所が実施する特定給食施設等巡回指導や従事者講習会の開催などにより、献立や食育に関する知識普及・情報提供等を行い、給食施設従事者の意識の向上を図ります。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○保育所・幼稚園への訪問指導を実施（92施設：延べ96施設）。 ○特定給食施設等（保育所・幼稚園等）の給食従事者、食育担当者等を対象に、講習会・研修会を16回実施、909名が参加した。	

再掲(1)ア⑦

取組事項	取組の内容	担当
出前講座への対応	望ましい食習慣について啓発を図るため、保健所などからの出前講座を実施します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○食に関する出前講座を8回実施、253名が参加した。 （テーマ例）食べることは生きること、高齢者の食を支えるスキルアップ講座	

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
「こどもたちのための食と環境講座」の実施	地域の農林水産業やその環境が果たす役割についての理解促進を図るため、小・中学校などからの要請に基づいた出前講座を実施します。	農政課	
	取組の実績	評価	A
	○平成24年3月末日までに計38回開催済み。 (農業25回、林業8回、水産業5回)		

取組事項	取組の内容	担当	
学校での水産教室の開催	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、京都府職員が各種学校へ出向き、講義を行います。	水産課	
	取組の実績	評価	A
	○「出前語らい」として、水産職員が出張授業を計6回(小学校5校、中学校1校)開催。		

取組事項	取組の内容	担当	
学校給食を活用した食育の推進	学校給食を生きた教材として活用し、給食の時間や関連教科等での指導を通じて、子どもたちに食への関心を持たせ、栄養バランスのとれた食事をとる自己管理能力を身に付けさせます。	保健体育課	
	取組の実績	評価	A
	○学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施している。 ○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」、「食に関する指導充実事業」を実施する中で、実践中心校では実践研究を行うとともに、その成果を公開授業、発表会等により他の学校へ普及した。		

取組事項	取組の内容	担当	
地域で生産される京野菜について食育教室を開催	中学生に、地元特産物の栽培や調理方法を講義します。 目標値：食育教室 2回	南丹広域振興局(農林商工部)	
	取組の実績	評価	A
	○中学生の食育教室を2回実施(参加者計91名) 地元野菜の栽培や生産状況がわかり、中学生の関心を高めることができた。 また、野菜の調理方法についても加工品の現物を前に説明し、理解を深めることができた。		

(1) 世代に応じた食育の推進

イ 学生等若い世代の食育支援

① 援農ボランティア活動等を通じた学生の農林漁業体験の推進

② 生協等の学生食堂と連携した「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開、郷土料理・行事食提供の推進

取組事項	取組の内容	担当
食情報提供店への加入促進	事業所や大学の食堂等で栄養成分表示やヘルシーメニューを提供されるよう保健所は事業主に働きかけ、栄養のアドバイスや健康づくり情報の提供等の支援を行います。 また、加入事業所を、府のホームページ等で広報します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○加入店舗数：519店舗（H24.3末現在） ・各保健所から飲食店や事業所、食堂へのアプローチを行ったり、各種イベントにて啓発を行った。	
		A

取組事項	取組の内容	担当
学生食堂における食育の推進	府内の大学食堂における食育の取組状況を調査し、効果的な食育推進施策について検討します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○インターンシップ実習として、府内4大学（同志社大学・京都大学・京都府立大学・京都教育大学）で大学生の食に関する意識及び大学食堂における食育の取組状況調査を実施し、学生と学生食堂それぞれの現状を把握し、大学生の健全な食生活を実現するための施策について検討を行った。	
		A

③ 大学と連携した食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
献血時における大学生等を対象にした栄養相談	大学での献血等の機会を利用した栄養相談・食生活指導を(社)京都府栄養士会の協力を得て実施します。 目標値：平成23年度 計25回	薬務課
	取組の実績	評価
	○栄養相談・食生活指導を25回実施。	
		A

取組事項	取組の内容	担当
大学生に対する食育の推進	大学生に対する食に関する意識・実践状況のアンケート調査を実施し、現状を把握するとともに、効果的な食育推進施策について検討します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○インターンシップ実習として、府内4大学（同志社大学・京都大学・京都府立大学・京都教育大学）で大学生の食に関する意識及び大学食堂における食育の取組状況調査を実施し、学生と学生食堂それぞれの現状を把握し、大学生の健全な食生活を実現するための施策について検討を行った。 ○平成23年12月9日（金）には、インターンシップ実習生からの提案内容を踏まえ、企業及び大学生協と連携し、大学生を対象とした料理教室を開催。 内 容：①食育セミナー「おいしいごはんのひみつ」 ②調理実習「手作りの料理の定番 肉じゃが」 参加人数：10名 場 所：ABC Cooking Studio 四条河原町コトクロススタジオ	
		A



取組事項	取組の内容	担当
「京都米の良さ発見！」提案の募集	京都府米食推進協会が、管理栄養士、栄養士をめざしている京都の大学、短大、専門学校で学ぶ学生を対象に京都米に関する事業提案を募集し、学生に京都米の良さを再発見してもらうとともに、その提案を活用して府民に対して京都米の知識を広げることを目的としています。	農産課
	取組の実績	評価
	<p>〇23年度は12作品の提案があり、表彰及び報告会を開催し、京都米のレシピの提案や、丹後コシヒカリの産地として有名な京丹後市をPRするための提案などが高く評価された。</p> <p>また、前年度の作品である栄養バランスを考えた京都米レシピについて、冊子を作成し、イベント等で配布した。</p>	A
	  	

④ 親子農林漁業体験の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
再掲(1)ア③	<p>〇農業体験教室(種まき・収穫)</p> <p>平成23年8月27日、11月12日 [京都府農協青壮年組織協議会]</p>	A

取組事項	取組の内容	担当
特用林産物の栽培体験	<p>きのこ栽培の体験を通じ、森林の恵みである特用林産物を食することへの関心を高めます。</p> <p>目標値：森林整備体験教室 1回 モデルフォレスト関連行事 1回</p>	モデルフォレスト推進課
	取組の実績	評価
	<p>〇モデルフォレスト関連行事できのこ栽培体験教室を1回開催。</p> <p>食の安心・安全への関心が高まる中、特用林産物への理解が深まった。</p>	A

⑤ 食に関する体験・学習ができる施設等の情報提供

取組事項	取組の内容	担当
該当施設に関する情報の収集・提供	該当施設についての情報をホームページを通じて情報提供します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
再掲(1)ア②	<p>〇京都府ホームページ内に開設している「食と農の体験施設」ページにおいて、地域別(京都市・山城・南丹・中丹・丹後)、内容別(食べる・作る・学ぶ・育てる)で情報提供を実施。</p> <p>http://www.pref.kyoto.jp/syokuiku-spot/index.html</p>	A
		

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
“食”関連情報の発信 再掲(1)ア②	中丹地域の安心・安全な地場産品や施設を紹介する中丹“食の環”マップを作成し、広く府民にPRします。	中丹広域振興局(農林商工部企画調整室、中丹東・西農業改良普及センター、中丹西・東保健所)水産事務所	
	取組の実績	評価	A
	○地元産農産物を販売している直売所や地元の食材を使って料理を提供している飲食店などを紹介した「中丹“食の環”マップ」を5,000部作成しました。平成23年6月の公募により、応募のあった33店舗を掲載。 【内訳：漁業体験施設1、直売所10、飲食店22】 その他にも、「中丹の旬のやさい・さかな」「綾部市生活改善グループ加工部の加工食品」「中丹地域の『たんとおあがり京都府産』施設」などを紹介。配布先は、掲載している33店舗のほか、各駅観光案内所(東舞鶴駅、西舞鶴駅、綾部駅、福知山駅)や行政機関の窓口。		

⑥ 生産現場での意見交換等の生産者と消費者との交流の促進

取組事項	取組の内容	担当	
意見交換・シンポジウムの開催	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○食の安心・安全意見交換会を各広域振興局内及び京都市内で計6回開催。(それぞれ10~50名程度の参加者) ○きょうと食の安心・安全フォーラム開催(1回) 開催日：平成24年1月24日(火) 参加者数：96名		

取組事項	取組の内容	担当	
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○農業体験教室(種まき・収穫) 平成23年8月27日、11月12日 [京都府農協青壮年組織協議会] ○市場見学会 平成23年9月24日 [京都市・京都市中央卸売市場協会]		

⑦ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都府農林水産フェスティバル2011（平成23年11月26日、27日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。	A
		

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパー等で実施します。 目標：年4回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年4回開催） 実施日：平成23年6月19日、9月19日、10月19日、11月19日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会	A
		

取組事項	取組の内容	担当
地元産物を活用したレシピ作成	行事食、旬の食材を使った郷土食レシピを作成し、消費者に府内産農林水産物とその調理方法を知ってもらい、自ら調理し、次世代に伝承するきっかけづくりにつなげます。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○季節ごとのレシピ（全52品）を3月から府ホームページ内で公開。スーパー等でPOPとして活用してもらえよう、データを整理。 (店頭POPイメージ)	A
		

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○農業体験教室（種まき・収穫） 平成23年8月27日、11月12日 [京都府農協青壮年組織協議会] ○市場見学会 平成23年9月24日 [京都市・京都市中央卸売市場協会] ○模擬栄養相談室（食生活をチェックしよう!） 平成23年11月12日 [京都聖母女学院短期大学]	A
	再掲(1)ア③	

⑧ 職場での料理教室の推進

⑨ 健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 <地域・職域連携推進会議> 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○平成 19 年度より、府全体及び各保健所で地域・職域連携推進会議を立ち上げ、会議のメンバー等に対して食生活改善についての情報提供を行った。	
		A

ウ 中年の食育支援

① 健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 <地域・職域連携推進会議> 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○平成 19 年度より、府全体及び各保健所で地域・職域連携推進会議を立ち上げ、会議のメンバー等に対して食生活改善についての情報提供を行った。	
		A
再掲(1)イ⑨		

取組事項	取組の内容	担当
働きざかり世代への食を通じた健康づくり	多忙なため生活習慣の多くに課題を抱える働きざかり世代が健診受診や保健行動に結びつけられるよう、管内事業所従事者へ向けた食育事業を実施します。 目標：年6回以上	南丹保健所
	取組の実績	評価
	○事業所5カ所において食育・健康教室を開催（6回・131名） ○企業健診会場において健康コーナー開設・食生活指導等を実施（5回・178名）	
		A

② 企業食堂と連携した郷土料理・行事食提供の推進

取組事項	取組の内容	担当
健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズの取組	「健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズ」の取組を弁当製造業者等に働きかけ、京のおばんざい弁当の普及を図ります。 また、京のおばんざい弁当普及推進協議会が、ホームページや各種イベント等の様々な機会を通じて、積極的に広報・普及を行います。	健康対策課
	取組の実績	評価
	○認定数：26種類（累計213種類） 販売数：約12万食（累計約98万食）	
		A

取組事項	取組の内容	担当
「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図ります。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○平成24年3月末現在認定施設数 120施設（平成23年度10施設を新規認定） ・認定証交付式において、京都府の水産物について情報提供。 ・認定施設の広報（京都府ホームページへの掲載、イベント等でパネル展示）	
		A

③ 職場での料理教室の推進

④ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都府農林水産フェスティバル2011（平成23年11月26日、27日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。	
		A
	再掲(1)イ⑦	

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパー等で実施します。 目標：年4回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年4回開催） 実施日：平成23年6月19日、9月19日、10月19日、11月19日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会	
		A
	再掲(1)イ⑦	

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
地元産物を活用したレシピ作成 再掲(1)イ⑦	行事食、旬の食材を使った郷土食レシピを作成し、消費者に府内産農林水産物とその調理方法を知ってもらい、自ら調理し、次世代に伝承するきっかけづくりにつなげます。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○季節ごとのレシピ(全52品)を3月から府ホームページ内で公開。スーパー等でPOPとして活用してもらえよう、データを整理。 (店頭POPイメージ)		

取組事項	取組の内容	担当	
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○健康づくり提唱のつどい(ビタミン・ミネラル…『食』から若さをとりいれよう) 平成23年11月20日 [京都府栄養士会] ○いきいき健康フェア(親子で楽しもう!雑煮とおせち料理) 平成23年12月3日 [京都府栄養士会] ○健やかライフを願って～いつまでも若々しく～シニア世代の食と生活 平成23年12月8日 [京都府立大学大学院]		

エ 高齢者の支援

① 社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援

取組事項	取組の内容	担当	
高齢者等への買い物支援	市町村が支援が必要と認める買い物が困難な地域で商店街団体等が行う、宅配サービスや移動販売、店舗への移動手段の提供や便利な小売店舗の立地など、高齢者等の買い物の利便を高める事業に対し、支援します。 目標値：2事例	商業・経営課	
	取組の実績	評価	A
	○高齢者にも見やすい大きな字とわかりやすい表現を使った宅配サービス情報誌作成及び配布への支援。 ○高齢者と商店を結び、配達を代行する買い物サポートスタッフの人件費への支援。		

② 高齢者の生活を充実させるための活動支援

取組事項	取組の内容	担当	
SKYふれあいフェスティバルにおける高齢者の栄養改善に係る普及啓発	高齢者の健康づくり・介護予防について、広く一般府民に理解を深めてもらうため、(公社)京都府栄養士会に委託して栄養改善の普及啓発を実施する。	高齢者支援課	
	取組の実績	評価	A
	○OSKYふれあいフェスティバルにおいて、栄養改善に係る普及啓発を実施。(実施日9月17日、18日 参加者 364名)		

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 <地域・職域連携推進会議> 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	健康対策課（各保健所）
再掲(1)イ㊹	取組の実績	評価
	○平成19年度より、府全体及び各保健所で地域・職域連携推進会議を立ち上げ、会議のメンバー等に対して食生活改善についての情報提供を行った。	A

③ 技能や技術を活用した農業や料理の体験の場等における活動支援

取組事項	取組の内容	担当
農山漁村伝承技能の登録・認定	農山漁村地域において多年にわたり培われ、行われてきた伝統的又は優れた生産・生活に係る技能を保持し、農林水産業や地域振興に意欲を持って技能の伝承活動ができる65歳以上の府内在住者を登録します。 極めて優れた技能の保持者については、京都府の「農の匠」、「山の匠」、「海の匠」として認定し、京都府ホームページにおいて、お名前と技能について紹介します。	研究普及ブランド課
	取組の実績	評価
	○京都府農山漁村伝承技能登録について、新たに40人を登録した。また、極めて優れた技能の保持者について、「農の匠」5人、「海の匠」1人を認定し、ホームページで紹介している。	A

(2) 家庭における食育の推進

家庭は、食育を推進する上で最も大切な場であり、食育の原点です。

食の外部化が進んでいる現代にあっても、人が初めて食に触れる場である家庭では、基本的な生活習慣を身に付けたり、望ましい食習慣や知識を習得したり、食文化を伝承したりする上で非常に大きな役割があり、また食を介したコミュニケーションを通じて親子の絆を深めることができます。

しかし、朝食欠食が大きな問題となっているほか、食生活も原因の一つと考えられる生活習慣病の増加や食品ロスの発生などの課題があります。

① 「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開

取組事項	取組の内容	担当	
保育所等での取組の支援	朝食を食べない幼児ゼロを目指し、保健所が保育所等への訪問や研修を通じて、給食の機会を捉え、食の重要性やそれに伴うマナーの理解など、年齢に応じた食育を支援します。	健康対策課（各保健所）	
	取組の実績	評価	A
	○保育所・幼稚園への訪問指導を実施（92施設：延べ96施設）。 ○特定給食施設等（保育所・幼稚園等）の給食従事者、食育担当者等を対象に、講習会・研修会を16回実施、909名が参加した。		

取組事項	取組の内容	担当	
食育強化月間における関係団体と連携した啓発	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○京都府農林水産フェスティバル2011（平成23年11月26日、27日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。		

再掲(1)イ⑦

取組事項	取組の内容	担当	
スーパーマーケット等での食育啓発活動	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパー等で実施します。 目標：年4回実施	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年4回開催）。 実施日：平成23年6月19日、9月19日、10月19日、11月19日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会		

再掲(1)イ⑦

(2) 家庭における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
小学校就学前の子どもを持つ親への支援	「早寝・早起き・朝ごはん」等規則正しい生活習慣や学習習慣がしっかり身につくよう、小学校就学前の子どもを持つ親を対象に「親のための応援塾」を開設し、家庭の教育力の向上を目指します。	社会教育課
	取組の実績	評価
	○府内の小学校で開催した「親のための応援塾」で、食育に関する講座を183回実施。 ・簡単な朝食作り・手作りお菓子作り・栄養教諭による食育の話など ・講座以外にも、グループ交流の中で、給食や朝食など食育についての交流が多数行われた。	A

取組事項	取組の内容	担当
朝食を食べない幼児ゼロを目指した保育園入園前の子どもをもつ親への食育啓発	保育所入園前の子どもの朝食欠食をなくすことを目標に保護者に対し食育の啓発を行います。	丹後保健所
	取組の実績	評価
	○「朝ごはんを食べよう！手軽に作れる簡単朝ごはんレシピ」を作成し、農業研究所施設公開デー（平成23年8月24日：約100名）、子育てフェスタin丹後（平成23年12月18日：親子50組）、健康フォーラムin丹後（平成24年3月17日：約200名）にて啓発を実施。	A

② 「食」の大切さや望ましい食習慣等についての啓発

取組事項	取組の内容	担当
出前講座への対応	望ましい食習慣について啓発を図るため、保健所などからの出前講座を実施します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
再掲(1)ア㊟	○食に関する出前講座を8回実施、253名が参加した。 （テーマ例）食べることは生きること、高齢者の食を支えるスキルアップ講座	A

取組事項	取組の内容	担当
各種イベントでの啓発	各種関係団体と連携し、各種イベントにおいて、府民へ正しい食習慣についての普及・啓発を行います。	健康対策課（各保健所）
	 <p>←食生活改善推進員連絡協議会作成の食事バランスガイドタペストリー</p>	
	取組の実績	評価
	○各種関係団体と連携し、各種イベントにおいて、食事バランスガイド等を用い、正しい食習慣についての普及・啓発を行った。	A

取組事項	取組の内容	担当			
食のスクラップコンクール実施	「食」に関する新聞記事や資料のスクラップ制作を通じ、「食」への関心と理解を深めることを目的として、小中学生を対象にコンクールを開催します。	食の安心・安全推進課			
	<table border="1"> <tr> <td>取組の実績</td> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	取組の実績	評価	A	
取組の実績	評価	A			
	<p>○募集期間：平成23年7月1日～9月15日</p> <p>内容：新聞並びにJA及び行政機関発行物の「食」に関する記事や資料を10点以上スクラップし、1記事につき200字以内の感想文又は感想画を記載。</p> <p>応募対象：京都府内に居住又は通学している小・中学生</p> <p>応募数：303点</p> <p>表彰式・作品展示：優秀賞8点、優良賞5点、佳作4点を選定し、「京都府農林水産フェスティバル2011」において表彰及び入賞作品の展示を実施。</p>				
	 				

取組事項	取組の内容	担当			
各種イベントでの啓発	<p>「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験出来る機会とします。</p> <p>○食育取組事例等の展示・配布</p> <p>○体験型ブース出展（食生活の見直しや、食に関わるマナー等の体験機会とします。）</p> <p>○アンケート実施（府民の食育に対する意識を把握します。）</p>	食の安心・安全推進課			
	<table border="1"> <tr> <td>取組の実績</td> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	取組の実績	評価	A	
取組の実績	評価	A			
	<p>○各種イベントに出展し、パネル展示、食生活チェックコーナー設置、資料配付、アンケート等を実施。</p> <p><出展イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都こだわりマルシェ（平成23年6月4日） ・京都府庁生協地産地消フェア（平成23年7月4日～8日、12月12日～16日） ・農林センター施設公開（平成23年7月27日） ・SKYふれあいフェスティバル（平成23年9月17日、18日） ・京都市中央卸売市場 鍋まつり（平成23年11月23日） ・京都府農林水産フェスティバル（平成23年11月26日、27日） 				

(2) 家庭における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパー等で実施します。 目標：年4回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年4回開催） 実施日：平成23年6月19日、9月19日、10月19日、11月19日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会	A
再掲(1)イ⑦		

取組事項	取組の内容	担当
家庭における食育推進をねらいとした啓発	管内の2市1町で実施されるイベント等において、食について考え、体験できる機会を設け啓発に努めます。 （3年計画の2年目） 目標値：1回開催	乙訓保健所 乙訓教育局 京都乙訓農業改良普及センター
	取組の実績	評価
	○「向日市まつり」の会場で親子参加型の「食べものクイズコーナー」を設置し、①1日に必要な野菜の量、②向日市の特産野菜、③朝食の摂取頻度、④適正体重を知っているかどうか、についてのクイズやアンケートを行った。写真や実物でパネル展示を行い、向日市と合同で幅広い年代に啓発できた。 （平成23年11月19日、参加者289名）	A
		
		

(2) 家庭における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
「みんなでコラボ in 中丹」における「基本的な生活習慣（はぐくみ教室）」の開催	<p>中丹管内のPTA役員や各学校のPTA担当者等を対象に、福祉関係部局との連携を深め、社会総がかりで子どもたちを豊かにはぐくむ環境づくりについて、地域も親も教師もともに学び、広め合う機会として、「みんなでコラボ in 中丹」を開催します。</p> <p>食育に関する取組として、「基本的な生活習慣（はぐくみ教室）」では、中丹“食の環”プロジェクト事業と連携し、子どもたちが学んでいる食の授業を体験することを通して、食の大切さについて考えます。</p> <p>○6月26日（日） 舞鶴市中総合会館 目標値：23年度 計1回</p>	中丹教育局
取組の実績		評価
<p>○平成23年6月26日（日）舞鶴市中総合会館で開催。（参加者 約450名）</p> <p>「はぐくみ教室」の中の1教室において、中丹管内公立中学校の栄養教諭を講師に迎え、「おいしいと思える心を育てるキーポイントを見つけよう！」と題した講座を開講し、食の環レシピや子どもの食の現状、食育の取組等の紹介を通して食の大切さについて考えた。</p> <p>（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市中丹西保健所の“食の環”プロジェクトと連携し、食の環レシピや学校における食育の取組を広く参加者に発信することができた。参加者も熱心に聞くことができ、食の大切さや食育について考える良いきっかけとなった。 ・参加者が当日学ぶだけでなく、その内容を持ち帰り、各PTA等の取組へ広げてほしいという意図を伝えることができた。 		A



取組事項	取組の内容	担当
「伝えたいたんごの味」を活用した食生活改善推進員地域活動の推進と情報発信	<p>丹後保健所管内食生活改善推進員連絡協議会に所属する食生活改善推進員は、平成21年度に作成した「伝えたいたんごの味」リーフレットを利用した地域活動を行い、平成22年度は「活用報告集」を作成しました。</p> <p>郷土食の良さを生かし、良い食生活が親から子へと伝わる食育活動が進められるように支援します。</p>	丹後保健所
取組の実績		評価
<p>○農業研究所施設公開デー（平成23年8月24日）、子育てフェスタ in 丹後（平成23年12月18日）、健康フォーラム in 丹後（平成24年3月17日）にて食育コーナーを設置し、普及啓発を実施。</p>		A



③ 栄養指導・相談対応の充実

取組事項	取組の内容	担当
保育所等への支援	保健所が行う巡回指導等を通じて、保育所に対し、栄養指導上の課題解決に向けた相談に応じます。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○保育所・幼稚園への訪問指導を実施（92施設：延べ96施設） ○保育所・幼稚園での食育に関する課題を抽出し、解決するための講習会や研修会を各保健所において行った。	A

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパー等で実施します。 目標：年4回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年4回開催）。 実施日：平成23年6月19日、9月19日、10月19日、11月19日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会	A
	再掲（1）イ ⑦	

④ 親子料理教室等、「食」を楽しみながら学ぶ機会の提供

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組みにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○各保健所で、食生活改善推進員リーダー対象の研修会を開催（10回 延べ376名が参加） ○各地域で食生活改善推進員が、小学生を対象とした「おやこ食育教室」等、食育に関する事業を実施。	A
	再掲（1）ア ③	

取組事項	取組の内容	担当
府関連施設を活用した農林漁業体験	パンやケーキづくりを通じて、「食」を楽しみながら学ぶ機会を提供します。	農村振興課 （丹後あじわいの郷）
	取組の実績	評価
	○成形パン、アイスクリーム、焼きドーナツ、ソーセージ等「食」に係る手作り体験教室の開催（参加者数7,212人）	A

(2) 家庭における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ○こども夏休み料理教室（自分でつくるよ！おひるごはん） 平成23年8月23日 [京都聖母女学院短期大学] ○こども夏休み料理教室（まるめてポン！おさえてパカッ！） 平成23年8月24日 [京都聖母女学院短期大学] ○農業体験教室（種まき・収穫） 平成23年8月27日、11月12日 [京都府農協青壮年組織協議会] ○市場見学会 平成23年9月24日 [京都市・京都市中央卸売市場協会] ○模擬栄養相談室（食生活をチェックしよう！） 平成23年11月12日 [京都聖母女学院短期大学] ○健康づくり提唱のつどい（ビタミン・ミネラル…『食』から若さをとりいれよう） 平成23年11月20日 [京都府栄養士会] ○いきいき健康フェア（親子で楽しもう！雑煮とおせち料理） 平成23年12月3日 [京都府栄養士会] ○おやこ食育教室（食育5つの力） 平成23年12月4日 [向日市食生活改善推進員協議会] ○健やかライフを願って～いつまでも若々しく～シニア世代の食と生活 平成23年12月8日 [京都府立大学大学院] ○ひらめき☆ときめきサイエンス（京都の伝統文化&食おもてなしの心を学ぼう） 平成23年12月18日 [京都府立大学大学院] ○子ども料理教室 平成24年1月14日 [京都市・京都市中央卸売市場協会] 	A
	再掲(1)ア③	

⑤ 初めて父親、母親になる夫婦の子育てを意識した食育における保健・医療機関、NPO等の連携による取組

取組事項	取組の内容	担当
子育てを意識した食育講座の実施	「きょうと食育ネットワーク」との共催により、これから親になる世代を対象とした食育講座を実施します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○当初実施を検討していた時期に他の事業の実施がずれ込み、十分な準備ができなくなったため開催を見送ることとした。	B

⑥ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
各種イベントでの啓発	「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験できる機会とします。	健康対策課
	取組の実績	評価
	○きょうと食育ネットワークの会員団体である京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、各保健所にてイベント等を開催し、食育に関する啓発等を行った。	A

取組事項	取組の内容	担当	
食育強化月間における関係団体と連携した啓発	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○京都府農林水産フェスティバル2011（平成23年11月26日、27日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。		
再掲(1)イ⑦			

取組事項	取組の内容	担当	
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○こども夏休み料理教室（自分でつくるよ！おひるごはん） 平成23年8月23日 [京都聖母女学院短期大学] ○こども夏休み料理教室（まるめてポン！おさえてパカッ！） 平成23年8月24日 [京都聖母女学院短期大学] ○農業体験教室（種まき・収穫） 平成23年8月27日、11月12日 [京都府農協青壮年組織協議会] ○市場見学会 平成23年9月24日 [京都市・京都市中央卸売市場協会] ○模擬栄養相談室（食生活をチェックしよう！） 平成23年11月12日 [京都聖母女学院短期大学] ○健康づくり提唱のつどい（ビタミン・ミネラル…『食』から若さをとりいれよう） 平成23年11月20日 [京都府栄養士会] ○いきいき健康フェア（親子で楽しもう！雑煮とおせち料理） 平成23年12月3日 [京都府栄養士会] ○おやこ食育教室（食育5つの力） 平成23年12月4日 [向日市食生活改善推進員協議会] ○健やかライフを願って～いつまでも若々しく～シニア世代の食と生活 平成23年12月8日 [京都府立大学大学院] ○ひらめき☆ときめきサイエンス（京都の伝統文化&食おもてなしの心を学ぼう） 平成23年12月18日 [京都府立大学大学院] ○子ども料理教室 平成24年1月14日 [京都市・京都市中央卸売市場協会]		
再掲(1)ア③			

取組事項	取組の内容	担当	
スーパーマーケット等での食育啓発活動	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパー等で実施します。 目標：年4回実施	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年4回開催）。 実施日：平成23年6月19日、9月19日、10月19日、11月19日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会		
再掲(1)イ⑦			

(3) 地域における食育の推進

② 食育を推進する人材の育成

取組事項	取組の内容	担当
管内栄養士ネットワーク推進事業	保健所は、地域での食育を推進するため、施設や地域で活動する栄養士に対し研修会や情報共有の場を提供することにより、栄養士間のネットワークづくりを行います。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	○各保健所において管内栄養士ネットワーク事業（研修会やネットワーク会議）を開催（31回、延べ447名が参加）。	

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員活動の支援（リーダー研修会の実施）	保健所は、食生活改善推進員のリーダー層に研修会を行い、食育に関する最新知識や事例共有などの機会を提供し、効果的な活動が展開されるよう支援します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
再掲（1）ア⑤	○各保健所で、食生活改善推進員リーダー対象の研修会を開催（10回 延べ376名が参加）	

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等従事者講習会	特定給食施設等従事者講習会の場を活用し、情報提供や施設間の交流の場を提供することで、連携した食育を推進します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
再掲（1）ア⑧	○保育所・幼稚園の給食従事者、食育担当者等を対象に実施した講習会・研修会の中で、施設間同士の情報交換や交流の場を設定した。	

取組事項	取組の内容	担当
食育指導の知識・技術の習得を支援	地域で食育を実践するグループ等が子どもを対象として実施する体験型の食育教室の取組を支援し、グループ等の食育指導の知識・技術の習得を図ります。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○体験型食育教室の指導者（グループ）に対し、「地産地消下敷き」と「食の安全に関する基礎知識資料」を配付し、指導者の理解を深めるとともに、食育教室で活用。 <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後塾 平成23年9月11日 たんごくいにゃあなあ（参加者18名） ・馬路農産加工グループ 平成23年11月18日 白みそづくり教室（参加者28名） ・福知山生活研究グループ 平成23年12月14日 郷土料理実習（参加者30名） 	

取組事項	取組の内容	担当
食農教育サポーター（仮称）養成講座の開講とサポーターの登録	学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、サポーターの登録を行います。 目標：養成講座開催 2回 サポーター登録 40名	食の安心・安全推進課
再掲(1)ア①	取組の実績	評価 B
	○「きょうと食いく先生」養成講座を2回開催（参加者105名）。食農体験の意義と子どもにわかりやすい教え方についての講義、体験指導の実践アドバイス等を実施した。しかし、制度が農業者のボランティア登録から農作業や調理等を指導できる幅広い人材の認定・登録に変更となり、新たな制度設計中であるため、サポーターの登録までには至らなかった。 ○「きょうと食いく先生」養成講座 ・北部会場（綾部市）：平成24年1月16日（月）参加者57名 ・南部会場（京田辺市）：平成24年1月31日（火）参加者48名	

取組事項	取組の内容	担当
子どもたち等を対象とする食育の推進	「やましろ食育プロジェクト」として食育推進を支援します。 ○地域における食育推進に関わる人材育成 ○食育推進関係者等のネットワークづくりを支援 ○地域と連携した食育推進の意識啓発の実施	山城広域振興局（農林商工部、山城北・南保健所） 山城教育局
再掲(1)ア⑤	取組の実績	評価 A
	○（市町村）食育担当課長会議の開催（平成23年11月25日市町村関係者15名参加） ○食育関係者交流会の開催（平成24年2月17日：99名参加） ○町及び関係団体と連携した食育啓発イベントの開催（平成23年7月23日）	

取組事項	取組の内容	担当
特定等給食施設従事者人材育成研修の開催	食育の媒体となる「給食」が適切に提供されるよう、保育所（園）や老人福祉施設等で栄養管理業務に従事する者に対し研修会を開催します。 目標：平成23年度 4回実施	山城北保健所
	取組の実績	評価 A
	○6月24日（14名）、7月12日（78名）、8月2日（20名）、8月25日（73名）	

取組事項	取組の内容	担当
食育講演会の開催	食育講演会は地域の関係者や食生活改善推進員、府民会議参画団体や市町等の行政・府民の広範な参加者を得て平成16年度から毎年継続開催しています。 平成23年度は、各関係機関と情報を交流しながら企画を行い、より幅広い団体や関係者の参加をめざし丹後の食育課題を共有します。 また、体験コーナーや参加団体の展示をとおし体験を通じて学ぶ機会を提供します。	丹後保健所
	取組の実績	評価 B
	○健康フォーラムin丹後（平成24年3月17日）にて食育コーナーを設置。関係団体等との調整が遅れ、他事業と共催になった。	

③ 学校や福祉施設などの給食での地産地消の推進

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援 再掲(1)ア④	給食を実施している施設で、地域の特色や工夫を活かした給食の提供ができるよう、保健所による給食施設巡回指導時の個別相談により支援します。 <特定給食施設> 健康増進法第20条では、特定かつ多数の者に対して継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設。 ただし、府ではそれ以下の食数の施設に対しても指導対象施設としている。	健康対策課(各保健所)
	取組の実績	評価
	○特定給食施設等巡回指導時に、栄養指導員が個別相談に対応。 ○特定給食施設等(保育所・幼稚園等)の給食従事者、食育担当者等を対象に、講習会・研修会を16回実施、909名が参加した。	

取組事項	取組の内容	担当
生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成 再掲(1)ア④	学校・保育園給食への地元農林水産物の供給を拡大するため、地元の農林水産物の旬・生産状況と学校給食のニーズを把握し、生産者と学校の調整活動を行うコーディネーターを育成します。 目標：育成研修会開催 2回	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○学校等給食コーディネーター育成研修会を2回開催。地元農林水産物の使用による教育的効果についての実践報告や「学校給食への地元農林水産物の供給拡大をいかに進めるか」についてパネルディスカッション方式で討議するなど、先進事例等に学ぶとともに、相互交流することによりノウハウの蓄積を図った。 ・南部会場(京田辺市)：平成23年11月29日(火) 参加者37名 ・北部会場(綾部市)：平成23年11月30日(水) 参加者57名	

取組事項	取組の内容	担当
「たんとおあがり京都府産」施設(京都府産農産物利用推進施設)の認定 再掲(1)ウ②	地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図ります。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○平成24年3月末現在認定施設数 120施設(平成23年度10施設を新規認定) ・認定証交付式において、京都府の水産物について情報提供。 ・認定施設の広報(京都府ホームページへの掲載、イベント等でパネル展示) ○新たに大学食堂を対象に追加。	

取組事項	取組の内容	担当
地場産物を取り入れた学校給食の促進 再掲(1)ア④	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食など取り入れることによって、子どもたちに地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。	保健体育課
	取組の実績	評価
	○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」、「食に関する指導充実事業」等の取組により、地場産物の活用など地域の特色を生かした学校給食等についての実践的研究に取り組み、研修会や公開授業、発表会等で他の学校に成果を普及した。 ○「学校給食における地場産物活用状況等調査」では、月1回以上府内産の野菜を利用している学校の割合は99.8%となっている。	

取組事項	取組の内容	担当
地元産農水産物を取り入れた学校給食の促進	地元農水産物を取り入れた、学校給食の促進のための学校栄養職員等の取組への支援、連携を実施します。	丹後広域振興局（農林商工部・丹後保健所） 丹後教育局
	取組の実績	評価
	<p>○京丹后市経営者会議の学校給食小委員会が主催し、「まるごと京丹後の日」を3回実施した。京丹後産農産物と魚を取り入れ、当日は生産者との交流給食とした。また、前後に2回、学校栄養職員との懇談会を持ち、学校給食現場の視察を受け入れてもらった。</p>	
		A

④ 食生活改善推進員や生活研究グループ等が行う郷土料理・行事食の料理教室等の活動の推進

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	健康対策課（各保健所）
	取組の実績	評価
	<p>○各保健所で、食生活改善推進員リーダー対象の研修会を開催（10回 延べ376名が参加）</p> <p>○各地域で食生活改善推進員が、小学生を対象とした「おやこ食育教室」等、食育に関する事業を実施。</p>	
再掲（1）ア ③		A

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○おやこ食育教室（食育5つの力） 平成23年12月4日 [向日市食生活改善推進員協議会]</p>	
再掲（1）ア ③		A

取組事項	取組の内容	担当
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。 【食育支援の取組】 ○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供 ○農林漁業体験プログラム 等	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施。</p>	
再掲（1）ア ②		A

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	京都府内の生活研究グループが取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。 また、農山漁村伝承技能保持者が行う農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。	研究普及ブランド課
	取組の実績	評価
	○小・中学生や消費者を対象に郷土料理講習会を4回(150人)、白大豆味噌仕込みの授業1回(2人)、豆っ子ようかんづくり授業回(18人)、小梅の収穫と小梅漬けづくり体験授業1回(21人)を支援。 小学生を対象とした地元の祭等での郷土料理の実演や収穫体験等総合学習の実施、「フクロウの一刀彫」を紹介する等、伝承活動を支援。	

取組事項	取組の内容	担当
親子など府民を対象にした食育の推進	地元産農水産物・農林漁業の理解や丹後の食文化を理解する機会を提供するために、生産者や食生活改善推進員等の協力を得て府民を対象にした(郷土食)料理教室を開催します。	丹後広域振興局(農林商工部・丹後保健所) 丹後教育局
	取組の実績	評価
	○食の安心安全意見交換会として、小学校のスポーツ少年団・保護者会を対象に、酪農の現場体験と、健康な体作りの牛乳料理教室、食育講話を実施した。(平成23年12月4日)(参加者49名) ○食の安心安全意見交換会として、府民対象に伝統料理(ばらすし)講習会を開催した。(平成24年3月18日)(参加者20名)	
再掲(1)ア③		

取組事項	取組の内容	担当
「伝えたいたんごの味」を活用した食生活改善推進員地域活動の推進と情報発信	丹後保健所管内食生活改善推進員連絡協議会に所属する食生活改善推進員は、平成21年度に作成した「伝えたいたんごの味」リーフレットを利用した地域活動を行い、平成22年度は「活用報告集」を作成しました。 郷土食の良さを生かし、良い食生活が親から子へと伝わる食育活動が進められるように支援します。	丹後保健所
	取組の実績	評価
	○農業研究所施設公開デー(平成23年8月24日)、子育てフェスタ in 丹後(平成23年12月18日)、健康フォーラム in 丹後(平成24年3月17日)にて食育コーナーを設置し、普及啓発を実施。	
再掲(2)②		



⑤ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
食育強化月間における関係団体と連携した啓発	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○京都府農林水産フェスティバル2011（平成23年11月26日、27日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。		
再掲(1)イ⑦			

取組事項	取組の内容	担当	
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○こども夏休み料理教室（自分でつくるよ！おひるごはん） 平成23年8月23日 [京都聖母女学院短期大学] ○こども夏休み料理教室（まるめてポン！おさえてパカッ！） 平成23年8月24日 [京都聖母女学院短期大学] ○農業体験教室（種まき・収穫） 平成23年8月27日、11月12日 [京都府農協青壮年組織協議会] ○市場見学会 平成23年9月24日 [京都市・京都市中央卸売市場協会] ○模擬栄養相談室（食生活をチェックしよう！） 平成23年11月12日 [京都聖母女学院短期大学] ○健康づくり提唱のつどい（ビタミン・ミネラル…『食』から若さをとりいれよう） 平成23年11月20日 [京都府栄養士会] ○いきいき健康フェア（親子で楽しもう！雑煮とおせち料理） 平成23年12月3日 [京都府栄養士会] ○おやこ食育教室（食育5つの力） 平成23年12月4日 [向日市食生活改善推進員協議会] ○健やかライフを願って～いつまでも若々しく～シニア世代の食と生活 平成23年12月8日 [京都府立大学大学院] ○ひらめき☆ときめきサイエンス（京都の伝統文化&食おもてなしの心を学ぼう） 平成23年12月18日 [京都府立大学大学院] ○子ども料理教室 平成24年1月14日 [京都市・京都市中央卸売市場協会]		
再掲(1)ア③			

取組事項	取組の内容	担当
エコファーマーと消費者を結びつける交流会の開催	エコファーマーの生産現場で、「えこいあーまーファンくらぶ京都」と協働で消費者との交流会を開催し、環境にやさしい農業の取り組みへの理解を深めます。 目標：現地交流会 2回	農産課
	取組の実績	評価
	<p>○現地交流会（10月） 山城地域でファンくらぶ会員（消費者）20名とエコファーマー2名が交流。有機栽培の茶や米づくりなど環境へのこだわりを理解する機会となった。</p> <p>○意見交換会（8月） 京都市内に亀岡市内の女性エコファーマーを招き、ファンくらぶ会員など14名に対して環境にやさしい農業の取組事例を紹介。</p>	A
		

取組事項	取組の内容	担当
京都米提供店の登録	京都府米食推進協会が、京都米を使用しているホテル、料理店を京都米提供店として登録し、登録章の交付式において、消費者、生産者、流通に関わる団体が意見交換を行います。 目標：23年度中に80店舗の登録	農産課
	取組の実績	評価
	<p>○平成23年度中に68店舗を登録。</p> <p>○東日本大震災の影響等により、西日本産米への関心が高まり一時京都米が品薄状態となったため、要件が満たせず、目標に達しなかった。 また、米トレーサビリティ法に基づく「記録の作成・保存」や「産地情報伝達」等の法律を遵守することを新たに登録要件に追加した。</p>	B

取組事項	取組の内容	担当
都市漁村交流の促進	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流事業を行う団体を支援します。	水産課
	取組の実績	評価
	○京都府漁協（大浦支所）分 朝市の開催 12回（1,657名 一般府民、他府県在住者等）	A

取組事項	取組の内容	担当
消費者応援隊活動 （おいしい食の応援隊）	消費者が農産物をつくる手伝いや、とれたての新鮮な地域の農産物を食べて地産地消をすすめ、農家と顔の見えるお付き合いで、相互応援の絆をつくります。	南丹広域振興局（農林商工部）
	取組の実績	評価
	○消費者応援隊活動を34回開催。（参加者 計754名） 〈活動地区の増加〉前年度の4地区から9地区に増加	A

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域において食や農への理解を深める交流活動の展開	「京都丹波『食』と『農』が結ぶ健康月間」を独自に設定し、管内の関係団体等と協働して、食育を含めたキャンペーン活動を30事業展開します。	南丹広域振興局（農林商工部）
	取組の実績	評価
	○管内の関係団体等と協働して、30のキャンペーン活動を実施し、約15,000人の府民参加を得た。	

取組事項	取組の内容	担当	
中丹“食の環”づくり事業による“食の環”ネットワークの構築	<p>生産者や食生活改善推進員、地域の個性的な飲食店や給食施設従事者、生活改善グループ等で築かれた交流の環をさらに広め、地産地消や食育に関する理解の醸成を推進するため交流会を開催します。</p> <p>平成23年度交流会開催：年4回</p>	<p>中丹広域振興局（農林商工部企画調整室、中丹東・西農業改良普及センター、中丹西・東保健所水産事務所）</p>	
	取組の実績		評価
	<p>○食の安心・安全、地元産農産物や食育、健康増進について、広く府民の皆さんに伝え普及するため、食に関する情報を積極的に発信する「中丹“食の環”づくり事業」により、“食の環”ネットワークづくりを進めた。</p> <p>○「中丹“食の環”づくり」交流会 4回実施（参加人数 延べ110人） 食に関わる団体が、地元産農産物や食育に関する情報の共有を図った。</p> <p>○「由良川・里山食体験～“食の環”バスツアー」開催 日 時：平成23年9月24日（土）10:00～15:00 内 容：サツマイモ堀収穫体験、地産地消推進店での昼食、おくどさんで炊いた水車米のおにぎりの試食 参加者：23名【大人12名、子ども11名（2歳～8歳）】 現地スタッフ6名、同行スタッフ5名</p>		

⑦ 食の安心・安全についての関係機関と連携した情報提供

取組事項	取組の内容	担当	
きょうと健康長寿推進府民会議	<p>保健所におけるきょうと健康長寿推進府民会議を通じて、参画関係団体と連携し、府民へ生涯にわたる健康づくりに役立つ情報を提供します。</p> <p><きょうと健康長寿推進府民会議></p> <p>「新しい歴史に向かって走ろう府民運動」の一環として、総合的な府民の健康づくり指針「きょうと健やか21」に基づき、府民一人ひとりが健康で豊かな社会生活を営むため、自ら健康づくりに取り組むとともに、各関係団体が連携を図りながら、それぞれの特性を生かした事業の実施や支援を行い、府民の自主的な健康づくりの一層の推進を図る。</p>	健康対策課（各保健所）	
	取組の実績		評価
	○各保健所にてきょうと健康長寿推進府民会議を実施、健康づくりに関する情報提供を行った。		

取組事項	取組の内容	担当
京都の伝統食品や加工技術を紹介する展示会等の開催	京都の長い歴史の中で培われた伝統食品の展示、加工技術の紹介を通じて、京の食やその大切さについて知ってもらう機会を提供します。 伝統食品等の展示・加工技術の紹介・体験学習教室 実施主体：(社)京都府食品産業協会	染織・工芸課
	取組の実績	評価
	○伝統食品等の展示・実演等の実施 平成23年9月10日(土)・11日(日) 場所：下鴨神社 平成24年2月20日(月) 場所：東山区清水坂 ○体験学習教室の実施 パンづくり 平成23年11月23日(水) 場所：京都府パン工業組合事務所	
		A

取組事項	取組の内容	担当
意見交換・シンポジウムの開催	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○食の安心・安全意見交換会を各広域振興局内及び京都市内で計6回開催。 (それぞれ10~50名程度の参加者) ○きょうと食の安心・安全フォーラム開催(1回) 開催日：平成24年1月24日(火) 参加者数：96名	
再掲(1)イ⑥		A

取組事項	取組の内容	担当
京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	ホームページ・メールマガジン等で「食」に関する情報を提供します。 <きょうと食育情報> http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/index.html <食の安心・安全きょうと> http://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/index.html	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○ホームページは随時更新。メールマガジンは各週で配信。 【メールマガジン登録者数】(平成24年3月末時点) ・食育メールマガジン：300人 ・食の安心・安全メールマガジン：572人	
		A

取組事項	取組の内容	担当
京都発！食とみどりのサイエンスNOW	府民の方々に農林水産技術の最新の研究成果をわかりやすく紹介し、開発された技術が府民生活の向上につながることを理解していただきます。 目標値：平成23年度 1回開催	農林水産技術センター企画室(研究普及ブランド課)
	取組の実績	評価
	○平成23年12月18日「京都発！食とみどりのサイエンスNOW」開催。 (キャンパスプラザ、参加者60名)	
		A

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
「海まるごと体験」の実施	海洋調査船「平安丸」の乗船や魚の解剖、海藻でつくる押し葉などの体験を通じて、京都府の海や魚、漁業への理解を促進する機会を提供します。 目標値：平成23年度 1回開催	海洋センター（研究普及ブランド課）
	取組の実績	評価
	○平成23年7月29日「海まるごと体験」の開催。 (京都府産技術センター海洋センター 参加者130名)	

取組事項	取組の内容	担当
管内市町食育関係各課担当者連絡調整会議の開催	学校給食への地元産農林水産物活用支援のための管内市町食育関係各課担当者連絡調整会議を開催します。	丹後広域振興局（農林商工部・丹後保健所） 丹後教育局
	取組の実績	評価
	開催はできなかった。市町の担当各課間で学校給食食材の地元産活用に対する考え方に差が大きく、現時点では開催の必要性が薄かった。	

⑧ 社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援

取組事項	取組の内容	担当
高齢者等への買い物支援	市町村が支援が必要と認める買い物が困難な地域で商店街団体等が行う、宅配サービスや移動販売、店舗への移動手段の提供や便利な小売店舗の立地など、高齢者等の買い物の利便を高める事業に対し、支援します。 目標値：2事例	商業・経営課
	取組の実績	評価
	○高齢者にも見やすい大きな字とわかりやすい表現を使った宅配サービス情報誌作成及び配布への支援。 ○高齢者と商店を結び、配達を代行する買い物サポートスタッフの人件費への支援。	

再掲(1)工①

⑨ 優良事例の紹介及び取組の拡大

取組事項	取組の内容	担当
食育総合交流会（仮称）の開催	事例報告や展示など、食育に取り組む関係者の交流会を開催し、情報交換の場を作ることにより、新たな取組や連携の創出、食育の推進を図ります。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○農林水産業、保健、教育、企業等の様々な分野の食育実践者を対象とした「きょうの食育みんなの交流会」を開催。 参加者からは、事例報告で紹介された取組（毎月11日は「はしの日」や料理教室での工夫、子どもを通じた家庭への情報提供など）を取り入れたいとして情報交換や、ネットワーク会員団体の紹介依頼などの交流があった。 日時：平成24年1月20日（金）13:00～17:00 場所：大阪ガスティリバ京都バルホール及びキッチンサロン 内容：①食文化の伝承「おみそ汁味比べ交流会」 ②実践事例等の情報提供「きょうの食育事例報告会」 ③パネルディスカッション「今求められる若い世代への食育の取組」 ④展示・関係団体交流 参加人数：約100名	

取組事項	取組の内容	担当	
「きょうと食育事例集」の作成	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、地域・団体等による食育の取組について調査を行い、優良なモデル事例を掲載した冊子を作成するとともに、きょうと食育ネットワーク会員等にモデル事例を紹介する等、府内全域への普及・拡大を図ります。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○「きょうと食育ネットワーク」において、「平成23年度きょうと食育事例集」を作成。（掲載事例数 53）		

取組事項	取組の内容	担当	
食育・地産地消推進協議会（仮称）の設置推進	学校・保育園やPTA代表、JA、府関係者（農業、教育、健康）等で構成する協議会を設置し、府内の食育・地産地消を推進します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○学校等給食地産地消・食育推進プロジェクトチーム会議を開催（平成23年9月16日）し、学校・保育園給食における地元産利用の推進、食農教育サポーターの養成、食農体験農場の拡大にむけて協議。		

取組事項	取組の内容	担当	
市町村食育推進計画の策定支援	食育先進市町村の担当者を招いての研修・懇談会の開催や、市町村の事情に応じた助言等を行い、市町村食育推進計画の策定を支援します。 目標：計画策定市町村数 15/26市町村	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○新たに京田辺市、木津川市、井手町、南丹市、綾部市が策定。 （平成23年度末時点で15市町村が策定） ○府内市町村食育担当課長会議を開催（平成23年5月13日）し、昨年度計画策定市町村からの取組報告を行うなど各市町村に情報提供。		

取組事項	取組の内容	担当	
管内市町が策定する食育推進計画の策定支援	管内市町の食育推進計画の策定や進行管理を含む食育推進に関する支援を行います。 目標値：乙訓管内市町食育推進担当者会議の開催	乙訓保健所 乙訓教育局 京都乙訓農業改良普及センター	
	取組の実績	評価	A
	○乙訓管内市町食育推進担当者会議の開催。 （平成23年7月25日 2市1町 19名出席 1回開催） ○長岡京市食育推進委員会に参加（2回）		

取組事項	取組の内容	担当	
管内市町村が策定する食育推進計画の策定支援	木津川市が策定する健康増進計画（食育推進計画として位置づけ）について、円滑な策定に向けて支援します。	山城南保健所	
	取組の実績	評価	A
	○平成23年度中に策定する木津川市への支援を実施（市民ワークショップへの出席7回等）		

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
きょうと健康長寿推進南丹地域府民会議食環境部会の実施	地域における食育をはじめとした食環境の課題解決をめざして、事例報告や対策事業を行います。 目標：年2回程度	南丹保健所	
	取組の実績	評価	A
	○13団体で構成される食環境部会を2回開催、他に食育キャンペーンのためのワーキングを1回開催した。		

取組事項	取組の内容	担当	
管内市町食育推進計画の策定支援 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再掲(3)⑦</div>	市町食育推進計画策定、学校給食への地元産農林水産物活用支援のための管内市町食育関係各課担当者連絡調整会議を開催します。	丹後広域振興局（農林商工部・丹後保健所） 丹後教育局	
	取組の実績	評価	B
	計画策定についての情報交換への期待は大きかったが、市町各課の温度差が大きく、開催に至らなかった。		

取組事項	取組の内容	担当	
丹後の食育実践活動事例の評価及び再検討	平成22年度は平成21年に募集した食育事例を関係機関に配布するとともにホームページ等を通して府民に普及しました。平成23年度は、3年間の取組を評価し再検討を行います。	丹後保健所	
	取組の実績	評価	A
	○平成20年度から22年度の食育事例について、特定給食施設等従事者講習会にて紹介。来年度は、子ども、成人、高齢者など、各ライフステージの食育事例を募集予定。		

3 数値目標

事項		当初 (21年度)	23年度 達成状況	23年度 目標	達成目標 (27年度)	説明
1	学校給食への地元農産物の供給品目数の割合	22.7%	17.8% (乳類除く 16.8%)	24%以上	30%以上	学校給食に地元農産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用することは、地域の農業や食文化への理解を深めるとともに、生産者の努力や、食に関する感謝の念を育む上で重要であるほか、地産地消にもつながるものです。このようなことから、学校給食への地元農産物の供給品目数の割合を30%以上とすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課、教育庁保健体育課調べ)
2	保護者を含めた参加型食育を実施している保育所数の割合	90.7%	100%	100%	100%	乳幼児は自らにおいて食を確保することが困難であることから、保護者等の食を提供する者への食育が重要である。このことから、保育所等の給食施設支援を通じて保護者を含めた参加型食育を実施している保育所の割合を100%にすることを目指します。 (京都府健康福祉部健康対策課調べ)
3	むし歯のない府内小学生の割合	38.9%	40.1%	39.9%	43.9%以上	生涯にわたり、健康で豊かな生活を過ごすためには、十分な口腔機能の発達、維持が必要です。食生活を含め生活習慣とむし歯・歯周病の発生は極めて関係が深いことから、むし歯のない小・中学生の割合の増加を目指します。 (京都府教育庁保健体育課調べ)
	むし歯のない府内中学生の割合	51.3%	53.9%	52.3%	56.3%以上	
4	食育に関心を持っている府民の割合	84.0%	90.0%	86%以上	90%以上	食育を府民運動として推進し、その成果を上げるためには、府民一人ひとりが自ら食育の実践を心掛けることが必要ですが、これにはまず多くの府民に食育への関心を持ってもらうことが欠かせません。このようなことから、食育に関心を持っている府民の割合(食育に関心がある又はどちらかといえば関心がある)を、90%以上とすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
5	朝食を毎日食べる府内小学生の割合	87.5%	88.2%	増加	95%以上	子どもの食生活の乱れが様々な場面で指摘されており、成長段階からの食の問題は、子どもの将来にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。健康的な生活リズムや生活習慣を確立するため、1日の始まりである朝食を毎日食べる子どもの割合の増加を目指します。 (文部科学省「全国学力・学習状況調査」)
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合	78.1%	80.1%	増加	90%以上	
6	食農体験農場の数	0箇所	0箇所	7箇所	20箇所以上	命と食の大切さを理解するためには、知識だけではなく、農作業や調理などの体験が効果的です。未来を担う子どもをはじめ府民が、五感をいきいきと発揮させ、種まきから施肥・除草・収穫、加工・調理まで一連の体験ができる機会を増やすため、「食農体験農場」の増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
7	「きょうと食いく先生」の数	0人	0人	40人	100人以上	学校や地域において田植えや収穫体験等が農業者を講師として実施されていますが、農作業や調理体験を体系的に指導できる人材が少なく、一部の農家に集中しています。学校の農作業体験の充実要望や府民の食農体験のニーズに対応できるよう、農業体験等を体系的に指導できる農業者を「食農教育サポーター(仮称)」として養成し、その増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
8	食育の推進に関わるボランティアの数	4,500人	5,400人	4,600人	5,000人以上	食育を府民運動として推進し、府民一人ひとりの食生活において実践してもらうためには、食生活の改善等のために府民の生活に密着した活動に携わるボランティアが果たしている役割が重要です。このようなことから、食育の推進に関わるボランティアの数の増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
9	食情報提供店の店舗数	460店	519店	560店	800店以上	生活スタイルの変化等から、外食への依存度が高まりつつあり、こうした状況に対応して府民の健康づくりを進めるためには、家庭内の食事だけでなく、外食・中食も含めた生活支援が必要です。このようなことから、飲食店等が提供メニュー等に健康や栄養に関する情報の提供を行う「食情報提供店」が800店以上となることを目指します。 (京都府健康福祉部健康対策課調べ)
10	食育推進計画作成市町村の数	23% [6市町]	58% [15市町]	58% [15市町村]	100% [26市町村]	食育を府民運動として推進していくには、府全域においてその取組が進められることが必要です。食育基本法では、市町村に推進計画を作成するよう努めることが求められており、各市町村において計画を作成し、その地域の特色を生かした食育が推進されることが重要です。このようなことから、推進計画を作成・実施している市町村の割合を100%にすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)